

「東北関東大震災！」…三陸沖を震源とする国内観測史上最大M9.0の巨大地震が東日本を襲いました。大津波・建物の倒壊・コンビナート火災、そして、東京電力福島第1原発の「放射能漏れ事故」…。死者・行方不明の数も2万5千人を超えました。各地で交通網は寸断され、ライフラインの復旧も先行き不透明な、正に未曾有の大災害となりました。本当にシビアな新年度のスタートです…！。さて、会報4月号ですが…。

【表紙】：「オクラレルカ」by 知念信雄先生：「送られるか？」…卒業式シーズンにぴったりの花なのでしょう！。今度、喜如嘉に見に行きたいと思っています。

【報告】：盛り沢山の報告がごございます。まず、各担当理事の先生方の「印象記」をご一読頂いて、それから本文を“じっくり”お読み頂きたいと思えます。小生的なキーワードは、①「医療への市場原理・民間活力導入論！（日本の医療制度の2つの柱は維持される…！?）」、②「50周年を迎えた国民皆保険！（安定的な財源確保は可能か?）」、③「クラウドコンピューティングと医療情報！（クラウド＝雲！、膨大な初期投資抑制は可能!）」、④「平成24年度診療報酬改定に対する要望！（医療と介護の接点領域の整備が重要課題!）」、⑤「はり・灸・あん摩・マッサージ・指圧師の施術に係る医師の同意書・診断書！（柔道整復師の療養費が3,300億円を越えた!）」、⑥「介護認定調査の特記事項記載の考え方！（主治医意見書の内容にも問題あり!）」、⑦「医療特区制度・医療ツーリズム！（沖縄県の将来における極めて重要な問題提起!）」、⑧「地域医療再生基金（二次）（各県＝15億円＋ α （上限105億円）」、⑨「非会員施設に対する医師会入会促進活動！（入会のメリットは…?）」、⑩「医療機関における消費税問題！（「軽減税率」・「ゼロ税率」とは…?）」、⑪「県民健康フォーラム～“がん情報さがしの10カ条”・“地域連携パス”・“緩和ケア”・“セカンドオピニオン”（講演会の持ち方・テーマ・進行方法の“作り込み”が重要課題！by 玉井先生）」、⑫「保険のひろば（7）～集团的個別指導の問題点！（平安先生にまとめて頂いた“情報の共有！”、そして、稲田先生の“医事紛争処理！”…これこそが、医師会入会の最大のメリットと考えます!）」

【生涯教育】：「外傷性頸部症候群の診断と治療」by 野原博和先生：「外傷性頸部症候群」の診断が1年間で約20万人…驚きです！。「低髄液圧症候群」と同様に治療に難渋する疾患だと痛感しております。

【インタビューコーナー】：村上優先生（インタビューア：久場睦夫先生）～「この病院で最も大切な人は治療を受ける人である!」、「意外と偏見の少ない“こども心療科”!」、「ペシャワール会

～“一隅を照らす!”・“誰も行かないところへ行く!誰もしないことをする!” by 中村哲医師]、「被投的投企」by サルトル～運命性と主体性!」…名言のオンパレードです。ご教授頂き心から感謝申し上げます。

【月間行事】：「未成年者飲酒防止強調月間」by 稲富仁先生：沖縄県の肥満率・失業率・離婚率・自殺率・飲酒運転検挙率・未成年飲酒補導率が全国トップクラスであるという話、長期断酒率は約20%であるという話…。少々、“うちあたり”いたしました。

【若手コーナー】：「FMレキオ～いきいきタイム」by 玉木正人先生：①力関係が弱い側に立つマスコミと医療との関係!、②言葉を選び、伝えることの必要性!、③「公共性!」と「普遍性!」、④「一生懸命!」～夢や理想をあくまで追求すべし!…という話。とても、参考になりました。ちなみに、小生的に「生放送」は若干苦手です。

【本の紹介】：「セロトニン脳健康法」by 高良和代先生：「ストレス (STRESS) を楽しもう!」という名言を思い出しました。S (Sport : スポーツ) ・ T (Travel : 旅行) ・ R (Rest and Relax : 休養) ・ E (Eating : 食事) ・ S (Speak and Smile : 会話と笑顔) ・ S (Sound and Sleep : 音楽と快眠) …。さっそく本屋さんにお問い合わせ、近日中に読んでみようと思っております。

【随筆】：「歯は大切だ!」by 當山護先生：①「食欲」の重要性!、②分かりやすい英文コメント!、③在宅歯科支援事業の現状!、④口腔内ケアの重要性!…写真付きで簡潔にまとめて頂きました。「親父さん、人生は最後に“食欲”ですね!」、「当たり前だ!」…なんとも絶妙な言葉の掛け合い…流石です。最後に、那覇地区医師会会長を務められ、看護師養成機関・夜間救急センターの設立など本土復帰前後にかけて県内医療環境整備にご尽力頂いた當山堅次先生のご冥福を心よりお祈り申し上げます。（當山堅次先生には、近々発行される「沖縄県医師会史」に「沖縄の形成外科」というタイトルで素晴らしいコラムをご投稿頂いております。是非、ご一読ください!）

タレントのガクトさんが「SHOW YOUR HEART」基金を立ち上げました。「自分たちの気持ちを見せて、手を差し伸べていこう!」、「助け合いの心を取り戻そう!」、「共助の精神で生き抜こう!」…というメッセージを発信しております。原発不安の中、「計画停電」、「燃料不足」、「医薬品不足」…「2次災害対策」・「防災計画の見直し」が急務です!。まだまだ、強烈なアゲインストの風が吹くであろう新年度は、しっかりと体調管理（セルフコントロール）をしながら、「支援の心」を持ち、明日を信じて、どっしりと踏ん張ってまいりましょう!。

広報副担当理事 照屋 勉